

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年6月6日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原管内を含む大崎管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		19 週	20 週	21 週	22 週
		5月5日 ~ 5月11日	5月12日 ~ 5月18日	5月19日 ~ 5月25日	5月26日 ~ 6月1日
イス新へ急 ン感型A性 フ染コR呼 ル症ロI吸 エ ナン器 ン ウ感 ザ イ染 ル 症	急性呼吸器感染症(ARI)	570 114.00	668 133.60	724 144.80	731 146.20
	インフルエンザ *	2 0.40	1 0.20	1 0.20	
	新型コロナウイルス感染症 *	1 0.20	4 0.80	5 1.00	1 0.20
	RSウイルス感染症 *				1 0.33
小児科 定点	咽頭結膜熱 *	1 0.33		1 0.33	4 1.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	11 3.67	16 5.33	11 3.67	10 3.33
	感染性胃腸炎	9 3.00	17 5.67	9 3.00	7 2.33
	水痘		1 0.33		
	手足口病				
	伝染性紅斑	3 1.00	15 5.00	13 4.33	9 3.00
	突発性発しん	2 0.67		1 0.33	3 1.00
	ヘルパンギーナ *				
	流行性耳下腺炎		2 0.67		
	急性出血性結膜炎			1 1.00	
眼科 定点	流行性角結膜炎	1 1.00	3 3.00		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 1.00			
基幹 定点	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		1 1.00		
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00		
	無菌性髄膜炎				1 1.00
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1		
拡張 疾患	川崎病		1		2
	不明発疹症				1

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



↑
感染症情報は
こちら

↑
感染症予防啓発物品
の貸出しはこちら

↑
性感染症検査の
申込みはこちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原管内

- 5類:百日咳 男性1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原管内を含む大崎管内

- 伝染性紅斑は定点あたりの報告数が高い水準で継続しており、警戒が必要です。

【集団発生状況】※栗原管内

- 新たな集団発生はありません。

【お知らせ】

- 県全体で発生している百日咳は、全数報告が始まった2018年第1週以降過去最多の報告数となっています。中学生以下の患者が多いですが、大人も感染することがあるため注意が必要です。
- 症状が出た場合は咳エチケットなどの徹底をし、咳が長引く場合は、医療機関へ御相談ください。

【感染症コラム～麻疹～】

- 麻疹ウイルスを病原体とする急性の全身感染症で、典型例ではカタル(風邪)症状、二峰性の発熱、特徴的な発疹を呈します。一時的に抵抗力が落ちるため、肺炎や中耳炎等の他の感染症を併発することがあります。稀に、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。
- 免疫がない人は100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。
- 不完全な免疫をもっている場合(例:1回のワクチン接種のみ)、典型的な症状が出ない「修飾麻疹」の経過をとります。そのため臨床症状のみで診断は困難となり、検査が必要になります。
- 患者さんに接触した場合は72時間以内にワクチンを接種することで、発症を予防できる可能性があります。接触が判明した場合は速やかに医療機関を受診してください。
- 空気感染するため、手洗いやマスクでは予防できません。予防するには2回の予防接種が重要で、1歳と小学校入学前1年間の幼児(6歳になる年度)に接種します。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594